

昭和100年記念式典事業実施委託業務公募型プロポーザルの審査結果について

1 審査

以下の日程で審査委員会を開催し、参加申込・企画提案書の提出があった1社について、プレゼンテーションと質疑応答を実施した。

- ・日時 令和8年4月6日（月）14時15分から16時00分
- ・場所 高知県職員能力開発センター 3階研修室

2 審査項目及び配点

1 実施方針	125 点
2 企画提案力	
①全体企画	125 点
②記念映像	50 点
③広報	200 点
④フォーラムの内容	450 点
3 その他独自提案	50 点
4 業務遂行能力	150 点
5 積算の妥当性	50 点
6 県が推奨する施策への取組	50 点

計 1,250点
(審査委員1名当たり250点×5名)

3 審査方法

プレゼンテーション及び質疑応答に基づいて各審査委員が審査（採点）を行った後、審査委員全員の採点を合計し、候補者を選定した。

4 審査結果

	参加者名	総得点
候補者	株式会社高知広告センター	875 点

○候補者に対する審査委員の主な意見

- ・ 全体を貫くテーマ案について、全体として50代以上はうなずける合格点だが、若い世代には堅いイメージになりそうなので、さらに工夫を検討していただきたい
- ・ 記念映像について、復興発展の未来につなぐイメージで制作される方向性は良いので、どの地域でも同じものではなく、高知らしさをより打ち出していきたい
- ・ 広報について、幅広い世代向けに提案されていた。Z世代はインパクト重視であるため、その他の方法もまだ考える余地があると思った
- ・ フォーラムの登壇者について、若い世代に訴求するという視点で再検討いただきたい
- ・ ノベルティ案について、複数あると良い。司会は県民から広く認知されていると思う
- ・ 独自提案について、体験できるものがあるとおもしろそう